



15 牛久愛和総合病院

病院の概要 /

開設	1978年11月
開設者	医療法人社団 常仁会
院長名	瀬下 明良
病床数	489床
標榜科	内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、内分泌内科、呼吸器内科、糖尿病代謝内科、腎臓内科、神経内科、心療内科、外科、整形外科、消化器外科、脳神経外科、形成外科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科 他
医師数	67人
指導医数	26人
研修医数	10人
研修医の主な出身大学	久留米大学、東北大学、東京医科大学、島根大学、東京慈恵会医科大学、筑波大学、東京医科歯科大学、昭和大学 等
外来患者数	707.3人/日
入院患者数	366.7人/日



募集要項 /

応募資格	2023年3月国家試験合格見込者
採用人数	5名(予定)
試験日程	2022年8月(予定)
選考方法	面接
処遇	■身分:常勤職員 ■給与:1年次400,000円 その他諸手当等を含む年収約540万円 (時間外勤務手当は別途支給) 2年次425,000円 その他諸手当等を含む年収約609万円 (時間外勤務手当は別途支給) ■住宅手当:月40,000円補助 ■社会保険:加入

病院見学対応状況

- 見学時間…随时(月~土)
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者:人事部 岡田
TEL: 029-873-3111
FAX: 029-874-1031
E-mail: jinji@jojinkai.com

女性医師支援

- ★出産・育児休暇…取得実績あり
- ★院内保育所…24時間保育実施(0歳児より可)

一 研修プログラムの特色

○常に指導医とマンツーマンの体制にある。

研修中は、常に指導医の管理下で研修を行う様に配慮し、指導医から研修医、また、研修医から指導医に意思の疎通が図られるようになっています。

○プライマリーケア研修を重視

地域の患者様との関わり方を重視し、市中病院ならではの医師としての原点を考える研修ができます。

○CPCを病院単独で開催している。

研修医として、密度の高いCPC等へ参加ができます。(定期1回/月)

研修スケジュール例

基本 プログラム	1年目												2年目											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
一般外来 並行研修可能	総合診療〇/専門外来×									×		〇	〇	×	×	〇								診療科による

※選択科目(2年次):牛久愛和総合病院 又は 協力型病院

協力型病院: 東京女子医科大学東医療センター病院(選択科・救急科・小児科)、筑波大学附属病院(選択科)、筑波学園病院(小児科・産婦人科)、東邦大学医療センター大森病院・大橋病院・佐倉病院(選択科)、総合母子保健センター愛育病院(産婦人科)、みやざきホスピタル(精神科)、東京医科大学茨城医療センター(必修科・選択科)、神立病院(地域医療)、さくら台土肥クリニック(地域医療)

専門研修の募集について

内科や外科、その他の診療科においても、筑波大学附属病院や東京女子医科大学病院の連携施設となっており、様々な診療科で研修が可能です。

研修・認定施設一覧

- ・臨床研修指定病院
- ・病院機能評価認定 第JC714-3号一般病院2
- ・日本内科学会 認定医制度教育病院
- ・日本整形外科学会 専門医制度研修施設
- ・日本外科学会 外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導施設
- ・日本麻酔学会 麻酔科認定病院
- ・日本血液学会 血液研修施設
- ・日本脳卒中学会 専門医認定制度研修教育病院
- ・日本腎臓学会 研修施設
- ・日本形成外科学会 教育関連施設
- ・日本熱傷学会 热傷専門医認定研修施設
- ・日本乳癌学会 認定医・専門医制度関連施設
- ・日本透析医学会 専門医制度教育関連施設
- ・日本眼科学会 専門医制度研修施設
- ・日本大腸肛門病学会 認定施設
- ・日本消化器病学会 認定施設
- ・日本糖尿病学会 認定教育施設
- ・日本脳神経外科学会 専門医研修プログラム研修施設
- ・日本消化器外科学会 専門医制度指定修練施設
- ・日本循環器科学会 研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会 研修関連施設
- ・下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
- ・茨城県肝疾患専門医医療機関
- ・茨城県指定 地域リハ・ステーション
- ・国土交通省重度後遺障害者短期入院協力病院
- ・日本病院会短期人間ドック指定医療機関
- ・厚生労働大臣認定 健康増進施設『スポーツ・リラックス』
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST稼働施設
- ・日本栄養療法推進協議会 NST稼働施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設
- ・日本泌尿器科学会 専門医教育施設

病院からメッセージ



研修責任者

石津 隆
(兼 臨床研修管理委員長)

当院は中規模の民間病院であるため、国公立病院や大規模な病院よりも自由度が高く、一人ひとりの希望に沿った研修を積むことができます。研修プログラムはかなり融通が利き、途中で変更することも可能です。診療においては、地域の中核病院として高齢者医療から救急医療まで担っているため、幅広い疾患を経験することができます。指導医がマンツーマンで指導を行い、少人数制のため十分な診療手技を経験・習得することができます。病院のチームの一員として積極的に診療に参加してもらい、指導医が見守りながら細かくフォローしていきます。

また、診療科の垣根が低く、院内の雰囲気も非常に良いため仕事がしやすい環境であることも自慢です。垣根が低いことは、他科の医師に相談しやすいだけでなく、ローテーションしていない診療科医師からも貴重な症例があれば「一緒に診ようよ」と声掛けられるアットホームな環境です。是非一度見学をして、当院のアットホームな雰囲気を感じてください。



研修医 友常 佑紀

圧倒的な雰囲気の良さ、私が当院を希望した1番の決め手です。

就職前の見学の際にバックグラウンドも志望科も様々な先輩研修医の先生方が、皆さん伸び伸びとでもしっかりと語られていました。そうして飛び込んだ当院の研修では、温かな雰囲気の中、医師として大切なエッセンスを身に着けられる機会が沢山です。

地域に根ざした基幹型病院としてcommon diseaseから救急疾患まで幅広く診療に当たっていますが、そんな中で研修医もチームの一員として様々なことを考え学び実践し、日々鍛えられています。10人と少人数制なので、熟練の先生方から直接ご指導頂けたり、「じっくりと焦らずに、自分のペースで力をつけていく」ことが出来るのも魅力で、一人ひとりがとても大事にされているのを感じます。ぜひ一度見学にお越し頂ければ嬉しいです。皆さんにぴったりの研修先とのご縁を願っています。